

ごあいさつ

「響♪つながろう！南三陸・女川・西宮 吹奏楽の絆」

西宮市吹奏楽連盟 会長 今西えいじ



20年前、阪神淡路大震災の時、多くの人々が助け合い励まし合いました。あの時、被災者を元気づけた一つに音楽がありました。プロ・アマ演奏者が全国から駆け付け、そのジャンルはあらゆる分野に及びました。私たちは、あの時の恩を決して忘れるものではありません。その様な事から、当連盟は創立40周年事業の一環として、東日本大震災で甚大なる被害を受け、西宮市と応援活動協定を結んでいる南三陸町と女川町の小・中学校への音楽支援活動を行なってきました。そして、この9月には、池上達理事長の熱い想いもあり、石井健昭先生らが率いる浜脇中学校吹奏楽部を連盟として両町に派遣する事に致しました。この計画に対して深いご理解をいただいた伊藤博章西宮市教育長と下垣稔浜脇中学校長に改めて感謝申し上げます。

本日は、同校が東北で演奏する曲を披露するとともに出演団体が日頃の練習の成果を発表する場でもあります。最後までお聴き賜りますようお願い申し上げます。御礼の言葉とさせていただきます。

西宮市吹奏楽連盟 理事長 池上達



平成7年（1995年）1月17日に、未曾有の被害をもたらした阪神淡路大震災。来年1月で丸20年が経とうとしています。今まで経験をしたことのない壊滅的な被害を受けた私たちの街、西宮。沢山の方々がお亡くなりになり、家族、友人を亡くしました。幼い命、中学生、高校生の若い命も奪われました。その中には吹奏楽部員もいました。しかし、世界、全国から本当に心あたたまる支援をしていただいたことは、今もずっと心に残っています。

そして平成23年3月11日の東日本大震災。私たちにとっては、他人ごとではございませんでした。すぐにでもできることはないか、あの時の恩返し以上のことを、という思いで平成23年度第76回定期演奏会から平成25年度第81回定期演奏会まで東日本大震災復興支援コンサートを開催してまいりました。前回プログラムのご挨拶の中に「南三陸町、女川町との交流は音楽を通じて継続する予定です」と書かせていただき、実現化を進めてまいりました。9月13日～15日まで西宮市立浜脇中学校吹奏楽部に訪問していただくこととなりました。阪神淡路大震災のあの時に支援を受けたときのぬくもりを念頭に置き、今後も両町との交流を深めるべく、吹奏楽を通じてコンサート及び合同練習会を実施し両町民の方々や中学生、高校生等とふれあい心の交流を深めたいと思っています。そしてあの悲劇の石巻市立大川小学校にも慰霊訪問をして、命の大切さや生き方について考えたいと思います。

今回の演奏会は「響♪つながろう！南三陸・女川・西宮 吹奏楽の絆」と題しまして開催いたします。訪問に向けての支援コンサートとさせていただきます。浜脇中学校の訪問を応援していただきたく、支援金箱を設置させていただきたいと思っております。どうか皆さまのご協力を何とぞよろしくお願いいたします。それでは浜脇中学校の壮行も兼ね、出演団体の熱い演奏を最後までごゆっくりとお楽しみください。